


<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし

43号



ナイスショット通信 第43号

46歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B
 TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

埼玉県では風土に適した樹液の多いカエデ苗が不足し、森林の伐採後の造林に多大なコストがかかっていることが課題となっているため、補正予算(地方創生拠点整備交付金)を活用する寄居林事務所【上の原採種園(1.5ha)】の現場を訪ねました。

ここでは温度と日照が自動調節できる温室で優良樹種を選抜し、木材出荷のため早期に成長するヒノキと約100分の1まで花粉を抑えた少花粉スギを開発・植樹して再造林コストの低減と森林の若返りを図っています。

今は県民の4人に1人が花粉症に該当しているようで、研究苗は摘心から横枝を伸ばし種の採取をし、コンテナ苗から少花粉スギや無花粉スギの苗木を伐採後の現場に植林しています。

また、農林業の振興を図るため、マイタケ原木栽培の短所である収穫期の集中を分散する技術研究、食害から森林に影響を及ぼすニホンジカの効率的な捕獲調査もおこなっています。

* 秩父市の協議会ではカエデの樹液を採取してシロップ化し、国内で初めて国産メープルシロップ(カエデ糖)を生産するほか、カエデ酵母菌を使用したパンの開発やカエデのラムネなど様々な商品を開発し地場製品の普及と地域資源の活用を図っています。



* 毎年、年明けに花粉の飛散予測が出されますが、首都圏に多くの花粉を飛散させる発生源を特定するため、県内にスギ雄花の観測定点林(45地点)を設置し、11月に雄花量を観測、花粉飛散予測をおこなっています。



コンテナ苗木生産の現場



マイタケの原木栽培

県産木材を利用した住宅等への補助金
 埼玉県の森林の半分はスギ・ヒノキなど木質資源の活用を目的としており、現在、人工林の約8割が柱などの木材に適した林齢に達しています。

そこで、住宅・店舗・事務所など新築や増改築など一定以上の県産木材を使用した場合、1戸あたり上限34万円を補助しています。

048-822-2568

(社)埼玉県木材協会

プロフィール

昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防第2分団員(21年目)/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市議会議員2期/H27年埼玉県議会議員初当選/県土都市整備委員/人材育成・文化・スポーツ振興特別委員/図書室委員/家族/妻・長女(大学生)・長男(中学生)・愛犬レオ

～人生100歳時代の到来！～

先日、「超高齢化社会の健康長寿」をテーマとした勉強会の中で、今後生まれてくる赤ちゃんは先端医療・新薬・食・ロボットなどによって平均寿命が100歳になる・・・と日本医師会の講師の方が話されていました。

昭和38年に全国でわずか153人だった100歳以上の高齢者は46年連続で増加しています。平成に入ってからは一気に20倍以上も増加しており、30年後には約70万人(142人に1人)が100歳以上になるとも推計されているようです。

本県の人口は730万人(世帯数305万世帯)と前月比+46,000人(+3,000世帯)に達していますが、10年後には718万人に減少すると予想されています。さらに、75歳以上の高齢者はこの10年間に1.6倍の121万人に増加することで、一人暮らしや高齢夫婦のみ世帯が増加するとされています。

今後、更なる平均寿命の延伸により、年金制度・定年の延長・地域や社会参加など、健康で元気なシニア世代の活躍する場を広げ、人生100歳時代の設計図を描かねばなりませんね。

全国の100歳以上

昭和45年	昭和55年	平成元年	平成18年	平成28年
310人	968人	3,078人	28,395人	65,692人

県内・市内の100歳以上

埼玉県		鴻巣市	
平成18年	平成28年	平成21年12月	平成29年8月
762人	2,249人	26人	49人



いよいよオリンピック・パラリンピックまで3年！

東京2020オリンピック・パラリンピック【オリンピックが7月24日(金)～8月9日(日)・パラリンピックが8月25日(火)～9月6日(日)】がいよいよ3年後に迫りました。県内ではゴルフ(霞ヶ関カンツリー倶楽部)・バスケット(さいたまスーパーアリーナ)・サッカー(埼玉スタジアム2002)・射撃(陸上自衛隊朝霞訓練場)の4競技が開催されます。県では埼玉県選手出場100名を目標にオリンピックに出場・活躍が期待できる選手60人を「彩の国ドリームアスリート」として指定し、強化費の助成(40万/年)やスポーツ科学による支援を行っています。

東京オリンピックに埼玉県から100人出場を目標！



埼玉県選手の	2012年	2016年	2020年
オリンピック出場人数	ロンドン	リオデジャネイロ	東京
埼玉県選手／日本代表	40人／293人	59人／338人	100人以上／約500人

開催期間中は競技座席数などから換算すると1日あたりの会場来場者数が約100万人と予測され、都営地下鉄と東京メトロの乗降客数850万人(1日平均)にプラスされることで、交通網への影響や多くの訪日外国人をサポートするボランティア不足が課題のようです。

大会組織委員会によると、ボランティアについては18歳以上であることや10日以上活動など、いくつか条件がありますが、グローバル人材の育成や運営に携わる貴重な経験を得られることから中・高生のボランティア参加も必要ではないかと感じます。